



と う な ん し く つ
当難勿屈

山形市立高楯中学校
学校たより
令和5年5月25日発行

創立71周年記念式

5月1日（月）同窓会長 梅津克彦様 PTA 副会長 蜂谷靖様 のご臨席を賜り、創立71周年（第72回）記念式典を挙行いたしました。



山形市立高楯中学校 創立71周年記念式典実施に当たり、本校同窓会を代表し祝辞を述べさせていただきます。

新型コロナウイルスによるパンデミックという世界的な大流行、その終焉が本当に今なのかはもう少し時を待たねばわからないわけですが、ようやく4年ぶりにこの会がかつての記念式と同じ形式で実施されることを大変嬉しく思っています。

私は創立60周年時からこれまで、毎回ではありませんが記念式の祝辞を述べさせていただいております。

その中で、特に私が話をさせていただいたことは、東日本大震災直後のという混乱の中でもあり、人の命の大切さであったり、この苦難にどう立ち向かうのかということ、私なりの思いとして語らせていただきました。

そして、今年の新一年生がその震災の前の年生まれか、もしくは早生まれで、生まれた年に震災が起こったということを考えると、十年一昔と言いますが、まさに隔世の感と言わざるを得ません。

そしてまた、このコロナ禍の中で、別の意味で、今の中学生は大きな試練をくぐり抜けてきたのだと思います。それまで普通だと思ってやっていたことが、普通ではなくなり、できなくなる。多感な少年少女時代の、自分たちの力ではどうすることもできない不条理。しかし、そうした環境の中でも高中生は力を合わせ、学業も部活動も校内行事に取り組んできたのだと思います。

3月に久しぶりに出席させていただいた卒業式。様々な制約はある中ではありましたが、卒業生の中学生生活をやり切ったというさわやかな笑顔と、次のステップへの思い、そして送り出す在校生の、卒業生への感謝とあとは任せてという強い決意が伝わる素晴らしい卒業式でした。そして今度は4月に新しい仲間である新一年生が加わり、星川校長先生をはじめ熱意ある先生方と一緒に、新しい高楯中学校の歴史の扉を切り開こうとしているのだと思います。とは言っても、3年前に一度途切れた日常を取り戻すということはそんな簡単なものではなく、一步一步手探りですすめていくしかないのではないのでしょうか。同窓会はそんな皆さんの応援団だと私は思っています。高中生一人ひとり元気を出して、力を合わせて前に進んでください。

また、70周年を記念し、同窓会として高楯中学校の学校教育に資する物品ということで「学校図書システム一式」を寄贈しております。現在、蔵書の分類管理や貸出・返却手続きのシステム化を図ることにより、有効に活用されているということでもあります。

最後になりますが、創立記念日は学校の元旦というべき日であります。今年一年みなさんの頑張りが高楯中学校の新たな伝統となって花開くことを願い、祝辞とさせていただきます。

令和5年5月1日

山形市立高楯中学校 同窓会長 梅津克彦

式辞（創立記念式）



「山笑う」。木々が芽吹き、やわらかな新緑が広がり、こぶしや山桜が咲き出す美しい季節がやってきました。今日、5月1日は、私たちの高楯中学校の誕生日、創立記念日です。本日ここに、同窓会会長梅津克彦様、PTA 副会長蜂谷靖様のご臨席を賜り、山形市立高楯中学校 創立 71 周年（第 72 回）記念式典を挙行できますことを深く感謝申し上げます。高楯中学校の誕生日を皆様と一緒に祝いしたいと思います。

さて皆さんは、「温故知新」という四字熟語があるのを知っているでしょうか。訓読すると「故きを温ねて新しきを知る（ふるきをたずねてあたらしきをしる）」つまり「昔のことを研究して、そこから新しい知識や道理を見つけ出す」という意味の言葉です。創立記念式の意義は、歴史を温め（あたため）、思いを新たにすることです。今日は、高楯中学校の創立 50 周年の年、2002 年（平成 14 年）頃を温めてみたいと思います。

本校は、1952 年に中里のこの場所に開校してから 50 年がたった 2002 年に、創立 50 周年記念モニュメント『明日への旅』が設置されました。校門をくぐると正面にあるモニュメントです。このモニュメントは子ども達のたくましい成長を願いつつ、創立 50 周年を記念し、また、地域の方々の強い要望のもとに設置されたそうです。デザインについては、テーマを「未来」と定め、在校生及び実行委員の方々より、当時、高楯中学校の誇れる目標でもあった自主・敬愛・不屈という「三つの心」の精神を象徴するモニュメントを募集しました。

自然豊かな地域にある中学校と「当難勿屈」の精神のもとで、寄せられたデザインの中から 10 点に絞り、それらの作品の意とするところを含めて、当時の東北芸術工科大学芸術学部長、峯田義郎教授にモニュメントの制作を依頼した作品です。制作にあたって峯田先生は、高瀬・楯山地区内を見つめ、幾度となく足を運び、時には山に、また、時には高瀬川にたたずみ、生徒たちに語りかけて、作品に取り組みましたと伝わっています。

このモニュメントは、後生の子も達に夢と希望を与え未来を見つめ続ける象徴になるようにとの願いが込められ、『明日への旅』をメインにして「自主・敬愛・不屈の三つの心で未来に向かって夢の実現を」の文字が石に刻まれています。

学校は、その地域の一番いい場所に建てられるといえます。大事な耕作地を削って建てられたのではないのでしょうか。地域の皆様が、子ども達の健やかな成長と平和な地域づくりを学校教育に期待されたのだらうと想像しております。「高瀬、楯山の二つの村が協力して、新しい中学校を造ろう」と考えたのが、この学校の始まりです。校章のなでしこの花の下にある二枚の葉は、そんな高瀬と楯山の友情、融和を象徴しています。長い年月をかけて、お互いが熱心に話し合い、すばらしい伝統が刻まれてきました。

皆さんは今、高楯中学校の歴史の先端におり、現在の歴史づくりを担っています。平穏な暮らしに慣れきった私たちは、コロナウイルスの流行によって、およそ 3 年に渡り本当にいろいろなことを考えさせられました。未来は、予測するのが難しいともいわれています。これまで培われてきた歴史の財産を糧に「未来は、自分で切り拓いていくもの」という自覚をもち、夢や希望の実現に向け、解決策を考え行動を起こさなければなりません。今日これから、新しい歴史を創り出す気概をもって、これからの高楯中学校を創造してほしいと思います。今日の創立記念式をきっかけに高楯中学校の歴史がさらに発展していくことを期待し、ご臨席を賜りました皆様方の変わらぬご支援・ご協力をお願いし、式辞といたします。



令和 5 年 5 月 1 日

山形市立高楯中学校 校長 星川 仁一



今日は 71 周年の創立記念式です。

高楯中学校は昭和 27 年に高瀬村、楯山村組合立高楯中学校という名前で開校されました。ここまでの長い歴史と伝統の中で、多くの先輩方が卒業されました。そして、多くの方々がこの高楯中学校を支えてくださっています。この歴史と伝統ある高楯中学校の創立記念式をともに迎えられることを心からうれしく思います。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症という想像もしなかった脅威に脅かされ、私たちの学校生活、そして、生徒会活動も思うように進めることができない状況でした。特に、私が強く感じたのは、「声」のつながりの薄れでした。式典では校歌を歌えない、式典にも参加できない状況でした。また、授業でも大きな声を出すことがためらわれる期間が続きました。

今月、コロナ感染症が感染症法上の 5 類に引き下げられることに伴って、私たちの活動は前のように活気あふれるものに戻れるようにと願っています。後の生徒総会の時に、お話ししようと思っていたことでもあります。これから私たちは先生や仲間、先輩や地域の方々とともに声でつながっていくべきときではないかと感じています。

実は今このときこそが、当難勿屈の精神で向かうときなのではないかと思うのです。

私たちの学校には、長い歴史と伝統があります。私たちの先輩方もかつて、ここで校訓である「当難勿屈」の精神を学び、その時々で立ち向かってきました。私たちは、先輩方が築いてこられた誇りある、あいさつ、応援、合唱、ボランティアの 4 つの伝統や校風を受け継ぎ、さらに発展させるべき世代です。その節目である今日は、高楯中生徒全員で再確認し、気持ちを引き締めてスタートする日です。今まで作り上げてこられた高楯中学校の歴史に新たな 1 ページを加えるべく、ここに全員で力を合わせ、互いに声でつながっていくことをお約束し、生徒代表の挨拶といたします。

令和 5 年 5 月 1 日

山形市立高楯中学校 生徒会長 田中千晴

令和 5 年度 生徒総会

5 月 1 日 (月) 実施



令和 5 年度生徒会 スローガン

- あいさつ
- 絆
- ボランティア
- メディア

こえ
「聲」

生徒会重点目標

「一人一人の思いを大事に

聲で繋がる生徒会」

山形市立高楯中学校

宿泊学習



1年生は5月16日～17日 山形市少年自然の家で宿泊学習を行いました。

「一致団結」～友情の輪を広げよう～
みんなの心が一つにまとまり、協力し合う2日間にしよう、と活動しました。宿泊学習を通して、新しい仲間たちとの友情の輪を広げ、中学校生活のいいスタートをきりました。

みんないい笑顔！

2年生は5月17日～18日 職場体験を行いました。2日間、実社会で働く経験を通して自分の未来を考える有意義な時間を過ごすことができました。多くの事業所のみなさんにお世話になりました。



職場体験

修学旅行



3年生は5月16日～18日 修学旅行で東京へ。「学楽両道」～新しい発見を、そうだ！東京に行こう！～

みんなが楽しめる修学旅行、楽しく学ぶ修学旅行をめざして準備を進めてきました。3年生はこれまで宿泊学習、職場体験などの行事がコロナウイルス感染拡大の影響で中止になりました。念願の修学旅行を存分に楽しみました。